

当院からは7名の職員が参加し、それぞれ一般演題の発表をしてきました。

- 回復期リハビリテーション病院から
急性期病院転院となった症例の検討
副院長：田丸 司
- 点滴依存患者の自宅退院に向けた
取り組み
看護師：竹内 靖貴
- アセスメントシートを使用し介護計画
の立案をとおした教育の取り組み
介護士：早川 八千代
- 脳出血で嚥下障害を呈しチームアプ
ローチにより嚥下機能が改善した一症例
言語聴覚士：星野 智子



- 重症ギランバレー症候群を呈し
不安の強い患者様の症例を振り返って
看護師：富永 委知子
- 当院におけるリハビリテーション施行
中における転倒・転落事故の傾向の分析
理学療法士：川瀬 進也
- 非常勤 MSW の業務に関する一考察
医療相談員：澤田 昭宏

多くの人の中で発表を行うのは緊張もしますし、研究の苦勞もありますが、一つのテーマを決めて深く考え、その成果を発表するということは、自身の日々の業務を振り返り、整理し、次のステップにつなげるということになります。

今後も研究発表などの取り組みを継続的に行い、一つ一つの業務において、成果を評価し、ステップアップにつなぐことができればと思います。



お疲れ様でした！！